

MIYU
2026

Public University Corporation MIYAGI UNIVERSITY

令和 8 年度入学

入学者選抜要項



宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

目 次

令和 8 年度入学者選抜について……………	1
インターネット出願について……………	1
宮城大学からの最新情報について……………	1
I 宮城大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）……………	2
II 入学者選抜の概要	
1 入学定員と募集人員……………	6
2 選抜日程等……………	6
3 選抜方法の概要……………	7
4 試験会場……………	9
5 学類配属について……………	9
III 一般選抜……………	10
IV 総合型選抜……………	15
V 学校推薦型選抜……………	16
VI 帰国生徒選抜……………	18
VII 社会人選抜……………	19
VIII 私費外国人留学生入試……………	20
IX 特別の配慮を要する入学志願者の事前相談……………	22
X 入学資格審査……………	22
XI 入試過去問題活用宣言について……………	22
XII 大学案内の請求方法……………	23
XIII 各キャンパスの交通案内……………	25
XIV 令和 9 年度入学者選抜の変更（予告）……………	26

アドミッション・ポリシー	令和 8 年度入学者選抜について	
	概要	
アドミッション・ポリシー	社会情勢等によりやむを得ず、選抜方法や選抜日程に変更等が生じる場合は、速やかに本学ウェブサイトにて公表いたします。	
	https://www.myu.ac.jp/admissions/colleges/	
アドミッション・ポリシー	一般選抜	
	インターネット出願について	
アドミッション・ポリシー	(1) 概要	
	本学への出願は、インターネット出願により行います。全ての学群入試において、インターネット上で必要項目を入力・登録・支払を行った後に必要書類を郵送していただきます。	
アドミッション・ポリシー	(2) 注意事項	
	募集要項については、各選抜区分、出願開始の約 2 か月前に本学ウェブサイトにて公表します。	
アドミッション・ポリシー	宮城大学からの最新情報について	
	宮城大学の最新情報や大事なお知らせをスマートフォンやパソコンに「プッシュ通知」でお知らせしています。是非ご活用ください。	
アドミッション・ポリシー	https://myu-nyushi-kouhou.pushappuniv.com/	
	私費外国人留学生入試	
アドミッション・ポリシー	事前相談	
	大学案内の請求方法	
アドミッション・ポリシー	交通案内	
	令和 9 年度入学者選抜の変更（予告）	

アドミッション・ポリシー	I 宮城大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）	
	宮城大学	
アドミッション・ポリシー	【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】	
	宮城大学は、地域社会の発展に主体的に貢献できる資質と能力を持った人間性豊かな人材育成を目指しています。このような人材は、高い人間力を備え、広く深く学び続ける力を基盤として、専門的な知識や技能を身につけ、将来にわたって地域社会の進歩に柔軟に対応し、それに貢献できる能力を備えた人材であると考えています。	
アドミッション・ポリシー	【入学者に求める能力は何か】	
	宮城大学が教育目標で掲げる人材を育成するためには、高等学校までの「偏りなく幅広く、継続した学習」の内容をしっかりと身につけていることが望まれます。特に、本学は科学技術による実社会への貢献を目指した「高度な実学」を理念として掲げていますので、理数科目の積極的な習得が望まれます。また、「グローバルな視点」を持つという理念も掲げていますので、コミュニケーション・ツールとしての基礎的な英語力の習得が望まれます。	
アドミッション・ポリシー	【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】	
	宮城大学が求める学生を選抜するため、学群・学類ごとに選抜試験を実施します。詳細は各学群のアドミッション・ポリシーを参照してください。	
アドミッション・ポリシー	看護学群	
	【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】	
アドミッション・ポリシー	看護学群は、生命の尊厳を基盤とする豊かな人間力を備えて、科学的思考とマネジメント能力を持ち、ヒューマンケアを中核とした創造的な看護を展開し、地域の人々、多分野・異文化の人々と協働して学際的に活躍できる人材育成を目指しています。	
	このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。	
アドミッション・ポリシー	(1) 人間に対する深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力	
	(2) 人間の生命と活動に関する事象を客観的に捉え、論理的に探求する科学的思考力	
アドミッション・ポリシー	(3) 対象者のニーズに即したケアを創造的に実践する創造的実践力	
	(4) 人と組織の中で、主体的にヘルスケアシステムを形成する基礎的なマネジメント能力	
アドミッション・ポリシー	(5) 関連分野と協働し、国内外の保健医療福祉の課題に貢献できる基礎的な学際性・国際性	
	【入学者に求める能力は何か】	
アドミッション・ポリシー	看護学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。	
	(1) 人や地域社会、看護に関心を持っている人	
アドミッション・ポリシー	(2) 人の喜び、苦しみを分かち合える温かい思いやりを持ち、人との関係を大切にできる人	
	(3) 科学的探究心を持ち、主体的かつ柔軟な発想で取り組むことができる人	
アドミッション・ポリシー	(4) 国の内外を問わず、看護学を通して地域社会に貢献しようと思っている人	
	【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】	
アドミッション・ポリシー	看護学群の選抜試験では、以下の評価を行います。	
	(1) 一般選抜では、大学入学共通テストの 6 教科 8 科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、個別学力検査の外国語、論説（※ 1）、面接（※ 2）の試験により、志望分野に必要な学力や資質、主体性等を評価します。	
アドミッション・ポリシー	(2) 学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの 6 教科 7 科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類、面接（※ 3）によって、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。	
	令和 9 年度入学者選抜の変更（予告）	

アドミッション・ポリシー	
概要	
一般選抜	
総合型選抜	(3) 総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類、レクチャー①・レクチャーレポートによる第1次選考、レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）（※4）による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。 (4) 帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生入試では、出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。
学校推薦型選抜	
帰国生徒選抜	
社会人選抜	
私費外国人留学生入試	
事前相談	
大学案内の請求方法	
交通案内	

- (3) 総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類、レクチャー①・レクチャーレポートによる第1次選考、レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）（※4）による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- (4) 帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生入試では、出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

事業構想学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

事業構想学群では、現代社会の諸課題を多角的・グローバルな視点で論理的に捉え、その課題解決に向けた事業を実行可能かつ持続可能なものとして構築する能力を身につけるとともに、地域資源の活用や新たな価値創造を志向し、産業、行政、社会の各分野で先導的役割を担える人材の育成を目指しています。このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

- 社会の中で他者を理解し、社会の発展に主体的に貢献する自立した人間として必要な総合力
- 人間や社会に関する事象を客観的に捉え、論理的に探求する能力
- 学群に共通する基礎的な知識・技術と専攻した学類の専門知識・技術
- 地域社会や企業での体験や協働を通じ、自ら課題を発見し、主体的に行動する実践力
- 地域や世界の歴史、文化を学ぶとともに、交流・協働を通して地域やグローバルで活動する能力

【入学者に求める能力は何か】

事業構想学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

(1) 地域社会の動向や時代の流れに興味を抱き、自ら問題を発掘し、論理的に考え、表現することを学ぶための基礎的な学力を有する人

(2) 大学での勉学に対する強い意欲を持ち、高度な知識とスキルを身につけることによって、具体的な行動をとまって地域社会の課題を主体的に解決し、貢献することを目指す人

(3) 事業構想（プロジェクト・デザイン）の分野でイノベーションをデザインすることにより、来るべき社会における新たな展開に貢献することを目指す人

加えて、各学類では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

<事業プランニング学類>

新たな発想に基づき、実行可能な計画をまとめ上げることに強い関心を持ち、その際に必要となる情報・データの読解、論理的な思考や表現の方法を学ぶための基礎学力を有する人

<地域創生学類>

多様化・複雑化する地域社会の諸問題に対して強い関心を持ち、その課題解決に向けて思考・分析を行うとともに、地域活性化を目指すまちづくりや産業育成、それを動かす人・組織のデザイン、そして持続可能な環境に関する理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

<価値創造デザイン学類>

人間感性や地域風土に根ざしたデザイン原理や、人々の生活の場である建築・街・インテリアなどの空間や情報コミュニケーションをデザインする理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

事業構想学群の選抜試験では、以下の評価を行います。

- 一般選抜では、大学入学共通テストの6教科8科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、個別学力検査の外国語、数学、論説（※1）の試験により、志望分野に必要な学力や資質を評価します。また、活動実績報告書により主体性等を評価します。
- 学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの6教科7科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類、面接（※3）によって、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- 総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類、レクチャー①・レクチャーレポートによる第1次選考、レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）（※4）による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- 帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生入試では、出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

食産業学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

食産業学群では、食につながる生物生産とその供給から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い専門的知識と技術を持ち、食産業全体を理解し、地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材の育成を目指しています。

このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

- 食産業に関する幅広い専門的知識と技術
- 地域社会から世界レベルまで様々なレベルでの食に関する課題発見力
- 食に関する課題解決の実践力
- 課題解決法の世界への発信力

【入学者に求める能力は何か】

食産業学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

- 食及び食を取り巻く環境に興味を持ち、自然科学の基礎知識を身につけている人
 - 論理的に考える力を修得し、食の安全・安心、環境との調和などの課題解決に取り組みたい人
 - 地域社会の一員として、さらには世界的な観点から食産業を考え、その発展に貢献しようとする人
- 加えて、各学類では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

<生物生産学類>

生物資源開発や生産環境技術、経営を通して、持続的な食料生産とその供給に強い関心を持ち、食産業の幅広い専門的知識と技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

<フードマネジメント学類>

食の製造・加工から流通・消費に至る食産業のプロセスについて、サイエンスとビジネスの両面において知識や技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

- 食産業学群の選抜試験では、以下の評価を行います。
- (1) 一般選抜では、大学入学共通テストの6教科8科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、個別学力検査の外国語、数学、理科の試験により、志望分野に必要な学力や資質を評価します。また、活動実績報告書により主体性等を評価します。
- (2) 学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの6教科7科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類、面接(※3)によって、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- (3) 総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類、レクチャー①・レクチャーレポートによる第1次選考、レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート、面接(口頭試問を含む。)(※4)による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- (4) 帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生入試では、出願書類(本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。)及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

※1 論説では、記述式の試験により、事象を論理的に考察する力や資料をもとに科学的に読み解く力等を多角的に評価します。

※2 看護学群一般選抜の面接では、看護職を志す意欲、看護職の基礎的な適性である人に対する態度や社会性、コミュニケーション能力などを評価します。

※3 学校推薦型選抜の面接では、主に以下の能力を評価します。

- ・高等学校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質

※4 総合型選抜の面接(口頭試問を含む。)では、主に以下の能力を評価します。

- ・高等学校までの基礎的な学習成果
- ・高等学校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質

II 入学者選抜の概要

1 入学定員と募集人員

		入学定員	募集人員						
			学群単位での入試				学類単位での入試		
			一般選抜		学校推薦型選抜	帰国生徒選抜	社会人選抜	総合型選抜	私費外国人留学生入試
			前期日程	後期日程					
看護学群	看護学類	95	48	10	24	若干名	若干名	8	5
事業構想学群	事業プランニング学類	200	100	20	40	若干名	若干名	8	5
	地域創生学類							8	5
	価値創造デザイン学類							8	6
食産業学群	生物生産学類	125	62	12	28	若干名	若干名	8	3
	フードマネジメント学類							8	4
計		420	210	42	92	若干名	若干名	48	28

※「帰国生徒」「社会人」の若干名は、「一般選抜」の募集人員に含まます。

2 選抜日程等

種 別		出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
総合型選抜		令和 7 年 9 月 24 日（水） ～ 令和 7 年 10 月 1 日（水） 【期間内必着】	第 1 次選考 令和 7 年 10 月 19 日（日） 第 2 次選考 令和 7 年 11 月 15 日（土） 令和 7 年 11 月 16 日（日）	第 1 次選考 令和 7 年 10 月 31 日（金） 第 2 次選考 令和 7 年 11 月 28 日（金）	令和 7 年 12 月 1 日（月） ～ 令和 7 年 12 月 8 日（月）
帰国生徒選抜		令和 7 年 11 月 4 日（火） ～ 令和 7 年 11 月 11 日（火） 【期間内必着】	令和 7 年 12 月 6 日（土）	令和 7 年 12 月 19 日（金）	令和 8 年 1 月 13 日（火） ～ 令和 8 年 1 月 20 日（火）
社会人選抜				令和 8 年 1 月 9 日（金）	
私費外国人留学生入試					
学校推薦型選抜		令和 7 年 12 月 16 日（火） ～ 令和 7 年 12 月 23 日（火） 【期間内必着】	令和 8 年 2 月 1 日（日）	令和 8 年 2 月 10 日（火）	令和 8 年 2 月 12 日（木） ～ 令和 8 年 2 月 18 日（水）
一 般 選 抜	前期 日程	令和 8 年 1 月 26 日（月） ～ 令和 8 年 2 月 4 日（水） 【期間内必着】	<看護学群> 令和 8 年 2 月 25 日（水） 令和 8 年 2 月 26 日（木） <事業構想学群・食産業学群> 令和 8 年 2 月 25 日（水）	令和 8 年 3 月 6 日（金）	令和 8 年 3 月 7 日（土） ～ 令和 8 年 3 月 15 日（日）
	後期 日程		<看護学群> 令和 8 年 3 月 12 日（木） 令和 8 年 3 月 13 日（金） <事業構想学群・食産業学群> 令和 8 年 3 月 12 日（木）	令和 8 年 3 月 20 日（金）	令和 8 年 3 月 21 日（土） ～ 令和 8 年 3 月 27 日（金）

3 選抜方法の概要

(1) 一般選抜

○印は実施するもの、×印は実施しないもの又は該当しないもの。

選抜方法等 <
--

※1 主体性等の評価については、看護学群では「面接」により評価します。事業構想学群、食産業学群では「活動実績報告書」により評価します。

※2 論説：「事象を論理的に考察する力」や「資料をもとに科学的に読み解く力」等を多角的に評価する、記述式の試験です。

(2) 総合型選抜

○印は実施するもの、×印は実施しないもの又は該当しないもの。

選抜方法等 学群・学類名		大学入学共通テストを課する	個別学力検査を課する	第1次選考		第2次選考			
				レクチャー①・レクチャーレポートを課する	出願書類、調査書を評価する	レクチャー②を課する	グループワーク・ふりかえりレポートを課する	面接（口頭試問を含む。）を行う	実技を課する
看護学群 看護学類		×	×	○	○	○	○	○	×
事業構想学群	事業プランニング学類	×	×	○	○	○	○	○	×
	地域創生学類	×	×	○	○	○	○	○	×
	価値創造デザイン学類	×	×	○	○	○	○	○	×
食産業学群	生物生産学類	×	×	○	○	○	○	○	×
	フードマネジメント学類	×	×	○	○	○	○	○	×

※ 本学入学後の指導の参考とするため、令和8年度入学共通テストにおいて、本学が指定する科目を受験し、自己採点結果を指定の期日までに報告する必要があります。

(3) 学校推薦型選抜

○印は実施するもの、×印は実施しないもの又は該当しないもの。

選抜方法等 学群名	大学入学共通テストを課する	個別学力検査を課する	実技検査等	
			実技検査を課する	面接を行う
看護学群	○	×	×	○
事業構想学群	○	×	×	○
食産業学群	○	×	×	○

(4) 帰国生徒選抜・社会人選抜・私費外国人留学生入試

○印は実施するもの、×印は実施しないもの又は該当しないもの。

選抜方法等 学群・学類名		私費外国人留学生			中国引揚等子女	帰国生徒・社会人		
		選抜の実施	面接を行う	本学が指定する資格・検定試験の公式スコアの活用	選抜の実施	選抜の実施	面接を行う	本学が指定する資格・検定試験の公式スコアの活用
看護学群 看護学類		○	○	○	×	○	○	○
事業構想学群	事業プランニング学類	○	○	○	×	○	○	○
	地域創生学類	○	○	○	×			
	価値創造デザイン学類	○	○	○	×			
食産業学群	生物生産学類	○	○	○	×	○	○	○
	フードマネジメント学類	○	○	○	×			

4 試験会場

本学の入学者選抜試験は、下記のいずれかの会場で実施することを予定しています。

[大和キャンパス]
宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1

[太白キャンパス]
宮城県仙台市太白区旗立二丁目 2 番 1 号

※志望する学群のキャンパスが試験会場になるとは限りません。また、都合により変更する場合もありますので、試験会場については必ず、各試験の募集要項及びインターネット出願サイトからダウンロード可能になる受験票にて確認してください。

5 学類配属について

入学者選抜試験は、種別に応じ学群単位又は学類単位で行います。

試験の種別によって学類配属の決定時期が異なりますので、次の表で確認してください。

試験の種別	試験の単位	学類配属の決定時期
一般選抜 学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜	学群単位	2 年次進級時に学類の配属を決定（※）
総合型選抜 私費外国人留学生入試	学類単位	入学時に学類の配属を決定

学類配属については、大学案内パンフレット 2026 等をご覧ください。

（※看護学群は単一学類のため、入学後の学類選択は行いません。）

Ⅲ 一般選抜

本学の一般選抜は、分離分割方式(前期日程・後期日程)により実施します。前期日程の学群から 1 学群、後期日程の学群から 1 学群、合計 2 学群又は同一の学群に出願することができます。

なお、本学の前期日程と他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以降同じ。）の前期日程、本学の後期日程と他の国公立大学の後期日程の併願はできません。

1 出願資格

本学に入学を志願する者は、次のいずれかに該当し、かつ令和 8 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）のうち、各学群の指定する教科・科目をすべて受験した者としてします。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 8 年 3 月に卒業見込みの者

(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 8 年 3 月に修了見込みの者

(3) 学校教育法施行規則第 150 条（第 6 号を除く。）の規定に基づき高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 8 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者

出願資格 (3) について、学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定により出願しようとする者は、事前に資格審査を受け、認定を受ける必要があります。(22 ページ「X 入学資格審査」を参照)。

2 出願期間

令和 8 年 1 月 26 日（月）から令和 8 年 2 月 4 日（水）まで【期間内必着】

3 入学者選抜方法

(1) 個別学力検査等の期日・時間割（予定）

看護学群

【1 日目】 前期：令和 8 年 2 月 25 日（水） 後期：令和 8 年 3 月 12 日（木）	10:00 ～ 11:00	11:50 ～ 12:50
	外国語	論説
【2 日目】 前期：令和 8 年 2 月 26 日（木） 後期：令和 8 年 3 月 13 日（金）	9:45 ～	
	面接（受験番号順）	

事業構想学群

前期：令和 8 年 2 月 25 日（水） 後期：令和 8 年 3 月 12 日（木）	10:00 ～ 11:00	11:50 ～ 12:50	14:40 ～ 15:40
	外国語	論説	数学

食産業学群

前期：令和 8 年 2 月 25 日（水） 後期：令和 8 年 3 月 12 日（木）	10:00 ～ 11:00	11:50 ～ 12:50	14:40 ～ 15:40
	外国語	理科	数学

(2) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の利用教科・科目と配点

学群・学類名 及び入学定員等		大学入学共通テスト			個別学力検査			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点											
学群	学類	教科	科目及び選択方法	教科等	出題範囲等	検査 時間	試験の区分		国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語 (英語)	情報	論説	面接	主体性 等評価	
看護 前期 48人 後期 10人	看護	国 語	『国語』必須	外国語	「英語」 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」 「論理・表現Ⅲ」から出題する。	60分	前期	大学入学 共通テスト	200	100		200	200	250	100	－	－	－	
		地理歴史公 民	『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から1科目を選択			60分		個別学力 検 査 等	－	－	－	－	150	－	150	評定	面接で 評価		
		理 科	次の（1）又は（2）のいずれか （1）『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において、「地学基礎」を除くいずれか2出題範囲を選択 かつ『物理』『化学』『生物』から1科目を選択 （2）『物理』『化学』『生物』から2科目を選択 ・基礎を付した出題範囲と基礎を付していない科目について、同一名称を含むもの同士の選択を認めます。 ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から2出題範囲を選択解答 してください。	論 説	事象を論理的に考察する力や資料をもとに科学的に読み解く 力等を多角的に評価する。	60分	後期	大学入学 共通テスト	100	50		100	100	125	50	－	－	－	
		数 学	『数学Ⅰ，数学A』必須	面 接	個別面接	15分		個別学力 検 査 等	－	－	－	－	150	－	150	評定	面接で 評価		
			『数学Ⅱ，数学B，数学C』必須 ・「数学B」及び「数学C」については、数列（数学B）、統計的な推測（数学B）、ベクトル（数学C）及び平面上の曲線と複素数平面 （数学C）の4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。																
		外 国 語	『英語（リスニングを含む。）』必須	情 報	『情報Ⅰ』必須														
		〔6教科8科目〕																	
		事業構想 前期 100人 後期 20人	事業 プランニング 地域創生 価値創造 デザイン	国 語	『国語』必須	外国語	「英語」 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」 「論理・表現Ⅲ」から出題する。	60分	前期	大学入学 共通テスト	200	300		200	250	100	－	－	－
地理歴史公 民 理 科	次の（1）から（4）までのいずれか （1）『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から2科目を選択 かつ『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において2出題範囲を選択 かつ『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目を選択 （2）『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から2科目を選択 かつ『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目を選択 （3）『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から1科目を選択 かつ『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において2出題範囲を選択並びに『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目を選択 （4）『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から1科目を選択 かつ『物理』『化学』『生物』『地学』から2科目を選択 ・『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せを選択することはできません。 ・理科について、基礎を付した出題範囲と基礎を付していない科目について、同一名称を含むもの同士の選択を認めます。 ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2出題範囲 を選択解答してください。			数 学	「数学」 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B（数列、統計的な推測）」 「数学C（ベクトル）」から出題する。			60分		後期	大学入学 共通テスト	100	150		100	125	50	－	－
数 学	『数学Ⅰ，数学A』必須					論 説	事象を論理的に考察する力や資料をもとに科学的に読み解く 力等を多角的に評価する。	60分	個別学力 検 査 等		－	－	－	－	100	100	－	100	－
	『数学Ⅱ，数学B，数学C』必須 ・「数学B」及び「数学C」については、数列（数学B）、統計的な推測（数学B）、ベクトル（数学C）及び平面上の曲線と複素数平面 （数学C）の4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。																		
外 国 語	『英語（リスニングを含む。）』必須			情 報	『情報Ⅰ』必須														
〔6教科8科目又は7教科8科目〕																			
食産業 前期 62人 後期 12人	生物生産 フード マネジメント			国 語	『国語』必須	外国語	「英語」 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」 「論理・表現Ⅲ」から出題する。	60分	前期	大学入学 共通テスト	200	300		200	250	100	－	－	－
				地理歴史公 民 理 科	次の（1）から（4）までのいずれか （1）『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から2科目を選択 かつ『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において、「地学基礎」を除くいずれか2出題範囲を選択 かつ『物理』『化学』『生物』から1科目を選択 （2）『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から2科目を選択 かつ『物理』『化学』『生物』から1科目を選択 （3）『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から1科目を選択 かつ『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において、「地学基礎」を除くいずれか2出題範囲を選択 並びに『物理』『化学』『生物』から1科目を選択 （4）『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から1科目を選択 かつ『物理』『化学』『生物』から2科目を選択 ・『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せを選択することはできません。 ・理科について、基礎を付した出題範囲と基礎を付していない科目について、同一名称を含むもの同士の選択を認めます。 ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から2出題範囲を選択解答 してください。			数 学		「数学」 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B（数列、統計的な推測）」 「数学C（ベクトル）」から出題する。	60分	後期	大学入学 共通テスト	100	150		100	125	50
		数 学	『数学Ⅰ，数学A』必須	理 科	「理科」（「化学基礎」「化学」の全範囲から出題） 又は生物（「生物基礎」「生物」の全範囲から出題） のいずれかを選択する。	60分	個別学力 検 査 等		－		－		－	100	100	100	－	－	－
			『数学Ⅱ，数学B，数学C』必須 ・「数学B」及び「数学C」については、数列（数学B）、統計的な推測（数学B）、ベクトル（数学C）及び平面上の曲線と複素数平面 （数学C）の4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。																
		外 国 語	『英語（リスニングを含む。）』必須	情 報	『情報Ⅰ』必須														
		〔6教科8科目又は7教科8科目〕																	

アドミッション・ポリシー	
概要	
一般選抜	
総合型選抜	
学校推薦型選抜	
帰国生徒選抜	
社会人選抜	
私費外国人留学生入試	
事前相談	
大学案内の請求方法	
交通案内	
令和9年度入学者選抜の変更(予告)	

アドミッション・ポリシー

概要

一般選抜

総合型選抜

学校推薦型選抜

帰国生徒選抜

社会人選抜

私費外国人留学生入試

事前相談

大学案内の請求方法

交通案内

令和9年度入学者選抜の変更(予告)

アドミッション・ポリシー

概要

一般選抜

総合型選抜

学校推薦型選抜

帰国生徒選抜

社会人選抜

私費外国人留学生入試

事前相談

大学案内の請求方法

交通案内

令和9年度入学者選抜の変更(予告)

〔大学入学共通テストの配点に係る注意事項〕

- ① 看護学群
- ・地理歴史・公民を2科目受験した場合は、高い方の得点を用います。

・理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「地学基礎」を除く選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点とみなします。

・リーディングとリスニングの配点比率を4:1とします。なお、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングのみの得点を換算します。
- ② 事業構想学群
- ・理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点とみなします。

・理科を2科目（『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎（4つの出題範囲から2つを選択解答）』と、基礎を付さない1科目を受験した場合を含む。）、地理歴史・公民を2科目受験した場合は、得点の高い順に3科目の得点を用います。

・リーディングとリスニングの配点比率を4:1とします。なお、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングのみの得点を換算します。
- ③ 食産業学群
- ・理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「地学基礎」を除く選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点とみなします。

・理科を2科目（『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎（「地学基礎」を除く3つの出題範囲から2つを選択解答）』と、基礎を付さない1科目を受験した場合を含む。）、地理歴史・公民を2科目受験した場合は、得点の高い順に3科目の得点を用います。

・リーディングとリスニングの配点比率を4:1とします。なお、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングのみの得点を換算します。

〔個別学力検査に係る注意事項〕

- ・食産業学群の理科については、解答する科目を試験会場で選択するものとします。

(3) 一般選抜における主体性等の評価

一般選抜における主体性等の評価は、看護学群では、面接で行います。

事業構想学群と食産業学群では、インターネット出願の際に5項目のチェックリストに回答していただき、インターネット出願システムから「活動実績報告書」を印刷、提出していただきます。自己申告していただいた「活動実績報告書」は、全出願者分を採点することとします。記載内容の根拠は、調査書にて確認し、その他の追加資料（eポートフォリオ等）を求めることはしません。

主体性等の評価方法

看護学群：面接（前期日程では2月26日、後期日程では3月13日に実施する）

事業構想学群：活動実績報告書（出願時に自己申告する）

食産業学群：活動実績報告書（出願時に自己申告する）

「活動実績報告書」の内容

出願時に、以下の5項目のチェックリストを設け、出願者に自己申告していただきます。

出願者は以下の項目に関して自らの取組状況を振り返り、該当するかどうかを自己申告していただきます。

- (1) 高校における学習活動に主体的に取り組んできた

(2) 部活動・ボランティア活動等に主体的に取り組んできた

(3) 生徒会・学校行事等に主体的に取り組んできた

(4) その他の活動に主体的に取り組んできた

(5) 高校で取得した資格、検定等、獲得した賞がある

- (1) には「総合的な探究の時間」等での探究活動を含みます。

記載内容の根拠の確認について

- ・調査書のいずれかの欄に1つでも該当する記述があれば、自己申告の根拠とします。
- ・調査書では「事実の記載があるかどうか」を根拠として確認します。記述の多寡は問いません。
- ・調査書が提出できない出願者については、別途「活動実績報告書」の様式を設定し、具体的な取り組みについての自由記述を求めます。

(4) 合格者の決定方法

- ① 看護学群
- 入学者の選抜は、大学入学共通テスト、外国語及び論説の成績を基本として調査書等の内容を総合的に判定して行いますが、合否判定に用いた教科等において、得点のない教科等があった場合は合格者とはなりません。また、面接の評価が一定の基準に満たない場合は、合格対象から除外されます。
- ② 事業構想学群
- 入学者の選抜は、大学入学共通テスト、外国語、数学及び論説の成績を基本として調査書等の内容を総合的に判定して行いますが、合否判定に用いた教科等において、得点のない教科等があった場合は合格者とはなりません。また、主体性等の評価のため、活動実績報告書を得点化して総合的な合否判定に用います。
- ③ 食産業学群
- 入学者の選抜は、大学入学共通テスト、外国語、数学及び理科の成績を基本として調査書等の内容を総合的に判定して行いますが、合否判定に用いた教科等において、得点のない教科等があった場合は合格者とはなりません。また、主体性等の評価のため、活動実績報告書を得点化して総合的な合否判定に用います。

(5) 合格者の発表

前期日程・・・令和8年3月 6日（金）

後期日程・・・令和8年3月20日（金）

アドミッション・ポリシー

概要

一般選抜

総合型選抜

学校推薦型選抜

帰国生徒選抜

社会人選抜

私費外国人留学生入試

事前相談

大学案内の請求方法

交通案内

令和9年度入学者選抜の変更（予告）

Ⅳ 総合型選抜

実施学群・学類名	看護学群	事業構想学群			食産業学群	
	看護学類	事業プランニング学類	地域創生学類	価値創造デザイン学類	生物生産学類	フードマネジメント学類
募集人員	8人	8人	8人	8人	8人	8人
出願資格	平成15年4月2日以後に出生し、かつ次の(1)から(3)までのいずれかに該当する者で、志望する学類に対し熱意と適性を有し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者としてします。 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定に基づき高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者 出願資格（3）について、学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願しようとする者は、事前に資格審査を受け、認定を受ける必要があります。（22ページ「X入学資格審査」を参照）。					
選抜方法等	第1次選考：出願者全員に対して、レクチャー①、レクチャーレポートを評価した成績、調査書及び出願書類の内容を総合的に判定して行います。 第2次選考：第1次選考に合格した者に対して、2日間の活動（レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）等）を評価した成績、調査書及び出願書類の内容を総合的に判定して行います。 ※口頭試問では、「英語」と「数学」に関する基礎的な内容の口頭試問を実施します。					
出願期間	令和7年9月24日（水）～令和7年10月1日（水）【期間内必着】					
選抜期日	第1次選考：令和7年10月19日（日） 第2次選考：令和7年11月15日（土）、16日（日）					
合格発表日	第1次選考：令和7年10月31日（金） 第2次選考：令和7年11月28日（金）					
その他	○大学入学共通テストの受験 本学入学後の指導の参考とするため、令和8年度大学入学共通テストにおける下記の教科・科目を受験し、自己採点結果を指定の期日までに報告する必要があります。 国語：『国語』必須 地理歴史・公民：『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目を選択 理科：『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において2出題範囲を選択 又は『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目を選択 数学：『数学Ⅰ、数学A』必須 『数学Ⅱ、数学B、数学C』必須 外国語：『英語（リスニングを含む。）』必須 情報：『情報Ⅰ』必須 ※詳細は必ず募集要項をご確認ください。 ○併願について 本学の一般選抜や学校推薦型選抜との併願ができます。					

アドミッション・ポリシー

アドミッション・ポリシー	
概要	
一般選抜	
総合型選抜	
学校推薦型選抜	
帰国生徒選抜	
社会人選抜	
私費外国人留学生入試	
事前相談	
大学案内の請求方法	
交通案内	
令和9年度入学者選抜の変更(予告)	

出 願 期 間	令和7年12月16日（火）～令和7年12月23日（火）【期間内必着】
選 抜 期 日	面接実施日：令和8年2月1日（日）
合 格 発 表 日	令和8年2月10日（火）
推 薦 人 数	【看護学群】 推薦できる人数は、宮城県内の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり2人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり1人とします。 ただし、衛生看護科又は看護科を有する学校については、宮城県内の高等学校又は中等教育学校の場合、当該科から2人まで、その他の科から2人までの計4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校の場合、当該科から1人、その他の科から1人の計2人までを各々推薦できるものとします。 また、高等学校の廃止（分校の廃止を除く。）に伴い、当該廃止した高等学校の生徒のすべてを一つの学校が受け入れる新設等があった場合、当該学校が推薦できる人数は、新設等の前日において当該廃止した高等学校の生徒であった者に限り、当該廃止した高等学校ごとに、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については2人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については1人まで加えることができるものとします。 この場合にあっても、当該廃止した高等学校が衛生看護科又は看護科を有する場合、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については当該科から2人まで、その他の科から2人までの計4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については当該科から1人、その他の科から1人の計2人までを各々推薦できるものとします。 【事業構想学群・食産業学群】 推薦できる人数は、宮城県内の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり各学群4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり各学群2人までとします。 また、高等学校の廃止（分校の廃止を除く。）に伴い、当該廃止した高等学校の生徒のすべてを一つの学校が受け入れる新設等があった場合、当該学校が推薦できる人数は、新設等の前日において当該廃止した高等学校の生徒であった者に限り、当該廃止した高等学校ごとに、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については各学群4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については各学群2人まで加えることができるものとします。
そ の 他	○本学の一般選抜や総合型選抜との併願ができます。 ○本学以外の国公立大学の学校推薦型選抜との併願はできません。

Ⅵ 帰国生徒選抜

実 施 学 群 名	看護学群	事業構想学群	食産業学群
募 集 人 員	若干名	若干名	若干名
出 願 資 格	日本国籍を有し、保護者の海外勤務等の事情により海外において外国の学校教育を受けている者のうち、次の（1）から（3）までのいずれかに該当する者とします。加えて、本学が指定する資格・検定試験のうち、いずれか1つの公式スコア（出願時点からおおむね2年前までに受験したものとする。）を提出できる者とします。 （1）外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を令和6年4月1日から令和8年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 （2）外国の教育制度に基づく教育機関において、2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校又は中等教育学校の最終学年に編入学を認められた者で、令和8年3月に卒業見込みの者 （3）平成20年4月1日以前に出生し、次に掲げるもののうち、いずれか1つ以上を令和6年又は令和7年に外国において授与された者 ①スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局からの国際バカロレア資格証書 ②ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格証明書「一般的大学入学資格証明書」 ③フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格証明書 ④グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）証明書又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格証明書（3科目以上） ⑤欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格証書 （注）（1）及び（2）において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した期間は、海外において外国の学校教育を受けたものとはみなしません。 【本学が指定する資格・検定試験】 出願にあたっては、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定（1級 -3級）、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEFL ITP、TOEIC L&R（ただし、TOEIC Bridge は除く。）の公式スコアの提出を要します。 ※実施団体の状況により、試験の種類等が変更になる場合があります。 ※ TOEIC 公開テストのスコア提出方法については募集要項をご確認ください。		
選 抜 方 法 等	面接及び出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）の内容を総合的に判定して行います。		
出 願 期 間	令和7年11月4日（火）～令和7年11月11日（火）【期間内必着】		
選 抜 期 日	令和7年12月6日（土）		
合 格 発 表 日	令和7年12月19日（金）		

アドミッション・ポリシー	
概要	
一般選抜	
総合型選抜	
学校推薦型選抜	
帰国生徒選抜	
社会人選抜	
私費外国人留学生入試	
事前相談	
大学案内の請求方法	
交通案内	
令和9年度入学者選抜の変更(予告)	

VII 社会人選抜

実施学群名	看護学群	事業構想学群	食産業学群
募集人員	若干名	若干名	若干名
出 願 資 格	平成 15 年 4 月 1 日以前に出生し、出願日において、社会人（家事従事者を含みます。）である者で、次の（1）から（3）までのいずれかに該当する者としします。加えて、本学が指定する資格・検定試験のうち、いずれか 1 つの公式スコア（出願時点からおおむね 2 年前までに受験したものとする。）を提出できる者としします。 なお、特に各学群のカリキュラムに関連の深い職業に従事している者、その経験を有する者又は本学卒業後これらの職業に従事しようとする者の出願を希望します。 （1）高等学校又は中等教育学校を卒業した者 （2）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 （3）学校教育法施行規則第 150 条（第 6 号を除く。）の規定に基づき、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 出願資格（3）について、学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定により出願しようとする者は、事前に資格審査を受け、認定を受ける必要があります。（22 ページ「X 入学資格審査」を参照）。 【本学が指定する資格・検定試験】 出願にあたっては、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定（1 級 -3 級）、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEFL ITP、TOEIC L&R（ただし、TOEIC Bridge は除く。）の公式スコアの提出を要します。 ※実施団体の状況により、試験の種類等が変更になる場合があります。 ※TOEIC 公開テストのスコア提出方法については募集要項をご確認ください。		
選 抜 方 法 等	面接及び出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）の内容を総合的に判定して行います。		
出 願 期 間	令和 7 年 11 月 4 日（火）～令和 7 年 11 月 11 日（火）【期間内必着】		
選 抜 期 日	令和 7 年 12 月 6 日（土）		
合 格 発 表 日	令和 7 年 12 月 19 日（金）		

VIII 私費外国人留学生入試

実施学群・学類名	看護学群	事業構想学群			食産業学群	
	看護学類	事業 プランニング 学類	地域創生学類	価値創造 デザイン学類	生物生産学類	フード マネジメント 学類
募集人員	5 人	5 人	5 人	6 人	3 人	4 人
出 願 資 格	独立行政法人日本学生支援機構が実施する 2025 年度日本留学試験（第 1 回又は第 2 回）において、20 ページから 21 ページまでに記載の試験教科を受験している日本の国籍を有しない者で、次の（1）及び（2）のどちらにも該当する者としします。加えて、本学が指定する資格・検定試験のうち、いずれか 1 つの公式スコア（出願時点からおおむね 2 年前までに受験したものとする。）を提出できる者としします。 （1）次の①から③のうち、いずれかに該当する者 ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月に修了見込みの者 ② 次に掲げる①に準ずる者として文部科学大臣が指定した者 Ⅰ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力を有することを認定する試験として認められる検定に合格し、平成 20 年（2008 年）4 月 1 日以前に出生した者 Ⅱ 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者で（又はそれと同等以上の学力を有することを認定する試験として認められる検定に合格した者）、文部科学大臣が指定する大学進学のための準備教育課程を修了した者又は昭和 56 年文部省告示第 153 号の別表第一の上欄及び中欄の施設における研修並びに同表下欄の施設における大学進学のための準備教育課程を修了した者 ③ 次に掲げるもののうち、いずれか 1 つ以上を外国において授与された者 Ⅰ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局からの国際バカロレア資格証書 Ⅱ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格証明書「一般的大学入学資格証明書」 Ⅲ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格証明書 Ⅳ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）証明書又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格証明書（3 科目以上） Ⅴ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格証書 （2）出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は本学入学により有することとなる者 （注）日本の国籍を有しない者であっても、日本の永住許可を得ている者は、出願できません。 【本学が指定する資格・検定試験】 出願にあたっては、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定（1 級 -3 級）、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEFL ITP、TOEIC L&R（ただし、TOEIC Bridge は除く。）の公式スコアの提出を要します。 ※実施団体の状況により、試験の種類等が変更になる場合があります。 ※TOEIC 公開テストのスコア提出方法については募集要項をご確認ください。					
日本留学試験において受験を要する教科・科目（出題言語はすべての教科とも日本語とします）	看護学群	看護学類			○日本語（読解、聴解・聴読解及び記述） ○理科（化学及び生物を受験してください。） ○数学（コースの指定はありません。コース 1 又はコース 2 のどちらかを選択して受験してください。）	

IX 特別の配慮を要する入学志願者の事前相談

本学では、障がいを持つ等、特別の配慮を要する方が、受験上及び修学上不利にならないよう、必要な配慮を行っており、そのための事前相談を受け付けています。

1 相談方法

- ・志願者本人又は保護者から、受験上及び修学上配慮が必要な事項について相談してください。
- ・必要に応じて、志願者又はその立場を代弁しうる保護者や出身学校関係者等との面談等を行うこともあります。

2 事前相談期限

総合型選抜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和7年 8月22日（金）

帰国生徒選抜・社会人選抜・私費外国人留学生入試・・・・・・ 令和7年10月 2日（木）

学校推薦型選抜 令和7年11月13日(木)

一般選抜 令和 7 年 12 月 18 日 (木)

※受験上の配慮については、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

なお、相談期限後に受験上及び修学上の配慮が必要となった場合にも、必ず、下記 3 の連絡先に問い合わせてください。

3 連絡先

981-3298

宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1

宮城大学 アドミッションセンター TEL: 022-377-8333 / FAX: 022-377-8282

X 入学資格審査

次の表の選抜試験への出願にあたり、学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定により、出願を希望する者は、下記の期間内に「宮城大学入学資格審査実施要項」に基づく資格審査を受け、認定を受ける必要があります。詳細は、宮城大学アドミッションセンター（022-377-8333）までお問い合わせください。

試験の種別	入学資格審査申請期間	審査結果の通知日
総合型選抜	令和 7 年 7 月 25 日（金）から 令和 7 年 8 月 8 日（金）まで	令和 7 年 9 月 8 日（月）まで
社会人選抜	令和 7 年 8 月 19 日（火）から 令和 7 年 8 月 29 日（金）まで	令和 7 年 9 月 19 日（金）まで
一般選抜		

XI 入試過去問題活用宣言について

本学は「入試過去問題活用宣言」に参加しています。本学の入学試験問題について、本学のアドミッションポリシーを実現するために必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を活用して出題することがあります。ただし、必ず活用するとは限りません。

詳細及び参加大学については入試過去問題活用宣言ホームページにて公表されています。入試過去問題を使用して出題した場合は、全日程終了後に本学ウェブサイト公表します。

日本留学試験 において受験 を要する教科・ 科目（出題言 語はすべての 教科とも日本 語とします）	事業 構想学 群	事業プランニング学類	○日本語（読解、聴解・聴読解及び記述） ○総合科目 ○数学（コースの指定はありません。コース 1 又はコース 2 のどちらかを選択して受験してください。）
		地域創生学類	
	食産 業学 群	価値創造デザイン学類	○日本語（読解、聴解・聴読解及び記述） ○理科（科目の指定はありません。2 科目を選択して受験し てください。） ○数学（コースの指定はありません。コース 1 又はコース 2 のどちらかを選択して受験してください。）
		生産生物学類	○日本語（読解、聴解・聴読解及び記述） ○理科（科目の指定はありません。2 科目を選択して受験し てください。） ○数学（コースの指定はありません。コース 1 又はコース 2 のどちらかを選択して受験してください。）
フードマネジメント学類			
選 抜 方 法 等	日本留学試験の成績、面接及び出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公 式スコアを含む。）の内容を総合的に判定して行います。		
出 願 期 間	令和 7 年 11 月 4 日（火）～令和 7 年 11 月 11 日（火）【期間内必着】		
選 抜 期 日	令和 7 年 12 月 6 日（土）		
合 格 発 表 日	令和 8 年 1 月 9 日（金）		

XII 大学案内の請求方法

大学案内の請求方法や配布時期は、次のとおりです。(料金や配布時期は変更になる可能性があります。)

1 「テレメール」を利用して請求する

(1) 本学のウェブサイトから請求する場合

本学のウェブサイト（<https://www.myu.ac.jp/admissions/request/>）から  テレメールを利用して直接資料請求ができます。(料金後納)

(2) インターネットで請求する場合

①  テレメールのウェブサイトアクセスしてください。

インターネット
(パソコン・スマートフォン)

<https://telemail.jp>

資料請求はこちら
(資料請求番号の入力不要)



② 資料の資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	送料（予定）	発送開始日（予定）
大学案内	560782	215 円	令和7年7月上旬

③ あとはガイダンスに従って必要事項を登録してください。

※ (1) (2) に関する注意事項

- ・ 資料は通常、発送日からおおむね3～5日でお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、資料を請求する曜日やお届け先地域、郵便事情によってはお届けに1週間以上要する場合があります。あらかじめご了承ください。16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。なお、発送開始日は変更になる場合があります。
- ・ 料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。
- ・ 料金のお支払い方法は「コンビニ払い」「au PAY 請求書支払い」「携帯キャリア払い」「PayPay」「クレジットカード払い」がご利用になれます。コンビニ払いと au PAY 請求書支払いは支払い手数料118円が、携帯キャリア払い、PayPay とクレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料30円が、支払い時に別途必要です。

「テレメール」についてのお問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター
電話 050-8601-0102（受付時間 9:30～18:00）

2 「モバっちょ」を利用して請求する

① 携帯電話、スマートフォン、パソコンからアクセスしてください。



URL : <https://djc-mb.jp/myu3/>



② 資料名及び料金等

資料名	送料	発送開始日（予定）
大学案内	250 円	令和7年7月上旬

イ) 請求時払い：携帯電話、スマートフォン、クレジットカードで支払いができます。
(支払手数料は別途50円必要です。)

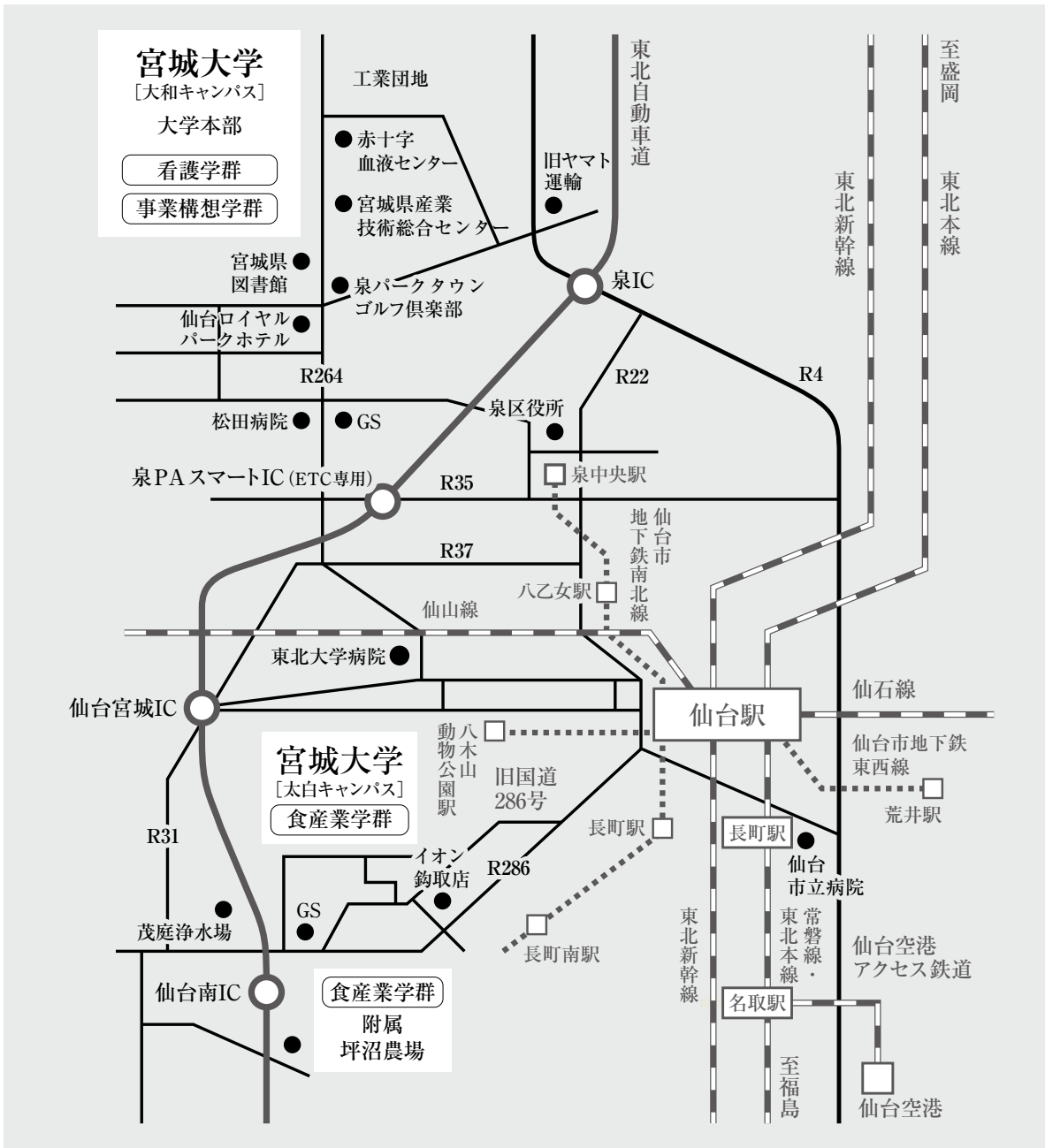
ロ) 後払い：資料到着後、コンビニエンスストアでお支払いください。
(支払手数料は別途126円必要です。)

※携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒にお支払いできない場合があります。その場合は「後払い」を選択してください。

「モバっちょ」についてのお問い合わせ先
大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター
電話 050-3540-5005（受付時間 平日 10:00～18:00）

XIII 各キャンパスの交通案内

※ 志望する学群のキャンパスが試験会場になるとは限りません。また、都合により変更する場合もありますので、試験会場については、必ず、各試験の募集要項及びインターネット出願サイトからダウンロード可能になる受験票にて確認してください。



大和キャンパス | 看護学群 | 事業構想学群 |

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

●仙台市地下鉄
南北線「仙台駅」から約15分、「泉中央駅」下車。バスに乗り換え

●バス利用
「泉中央駅」バスプール3番又は6番から、宮城交通バス「泉パークタウン」行き(宮城大学経由)で約30分～35分、「宮城大学・仙台総合医療大学校前」下車

「仙台駅西口」バスプール2番から、宮城交通バス「宮城大学」行きで約50分、「宮城大学・仙台総合医療大学校前」下車

太白キャンパス | 食産業学群 |

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号

●仙台市地下鉄
「仙台駅」から約10分、「長町南駅」下車。バスに乗り換え

●バス利用
「長町南駅・太白区役所前」バスプール4番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約20分、「宮城大学太白キャンパス前」下車

「仙台駅前」バスプール7番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約40分、「宮城大学太白キャンパス前」下車

XIV 令和9年度入学選抜（令和8年度実施）の変更（予告）

令和9年度入学選抜（令和8年度実施）の変更については、令和6年12月20日、令和7年2月27日、令和7年4月24日にウェブサイト上で予告した内容のとおりです。
このほかの変更内容については、令和9年度入学選抜要項を確認してください。

変更検討のお知らせ

令和6年12月20日

宮城大学

令和9年度入学選抜に関する変更検討のお知らせ

本学では、受験者の多様な能力、意欲及び適性を総合的に評価し、時代の変化に対応できる人材の選抜を目指すとともに、受験者に幅広い選択肢を提供するため、令和9年度入学選抜に向け、選抜方法等の見直しを検討しております。これに伴い、以下のスケジュールで情報を順次公表する予定です。

<公表スケジュール（予定）>

令和7年2月～3月 個別学力検査及び大学入学共通テストの教科・科目等

令和7年4月～6月 個別学力検査及び大学入学共通テストの配点

以降、随時 その他、各選抜方法等に変更が生じる場合、その内容

詳細が確定次第、上記スケジュールを目安に本学公式ウェブサイトにてお知らせいたします。出願をご検討の際は、今後の公表情報及び該当年度の募集要項をご確認いただきますようお願いいたします。

以上

第1報

令和7年2月27日

宮城大学

令和9年度入学選抜に関する変更のお知らせ（予告）第1報

本学では、令和9年度入学選抜より、出題教科等の見直しを含む選抜方法の変更を以下のとおり予定しています。なお、本予告は現時点での内容をお知らせするものであり、今後変更や追加情報が生じた際には、本学公式ウェブサイト等で随時お知らせします。また、出願を検討される際は、必ず該当年度の募集要項をご確認ください。

アドミッション・ポリシー			
概要			
一般選抜			
総合型選抜			
学校推薦型選抜			
帰国生徒選抜			
社会人選抜			
私費外国人留学生入試			
事前相談			
大学案内の請求方法			
交通案内			
令和9年度入学希望者選抜の変更(予告)			

1 一般選抜

(1) 個別学力検査

各学群の一般選抜における個別学力検査の出題教科等を、次のとおり変更します。なお、変更がない出題教科等の出題範囲は、現行どおりとします。

イ 看護学群

実施日程	令和 8 年度入学希望者選抜までの出題教科等	令和 9 年度入学希望者選抜以降の出題教科等
前期	外国語（英語）	外国語（英語）
	論説	論説
	面接	面接
後期	外国語（英語）	外国語（英語）
	論説	(論説を課さない)
	面接	面接

ロ 事業構想学群

実施日程	令和 8 年度入学希望者選抜までの出題教科等	令和 9 年度入学希望者選抜以降の出題教科等
前期	外国語（英語）	外国語（英語）
	数学	数学
	論説	論説
後期	外国語（英語）	外国語（英語）又は数学のいずれか 1 教科を選択
	数学	
	論説	(論説を課さない)

ハ 食産業学群

実施日程	令和 8 年度入学希望者選抜までの出題教科等	令和 9 年度入学希望者選抜以降の出題教科等
前期	外国語（英語）	外国語（英語）
	数学	(数学を課さない)
	理科	(理科を課さない)
後期	(新設)	ペーパーインタビュー（※）
	外国語（英語）	(外国語（英語）を課さない)
	数学	(数学を課さない)
	理科	(理科を課さない)

※面接に代わり、受験者が筆記形式で紙面の質問に回答する試験で、学群における学修への意欲や資質、思考力、表現力を評価します。

アドミッション・ポリシー			
概要			
一般選抜			
総合型選抜			
学校推薦型選抜			
帰国生徒選抜			
社会人選抜			
私費外国人留学生入試			
事前相談			
大学案内の請求方法			
交通案内			
令和9年度入学希望者選抜の変更(予告)			

(2) 大学入学共通テスト利用教科・科目

事業構想学群及び食産業学群の一般選抜における大学入学共通テストの利用教科・科目を、次のとおり変更します。

イ 事業構想学群

実施日程	教科等	令和 8 年度入学希望者選抜までの出題教科等	令和 9 年度入学希望者選抜以降の出題教科等
前期 後期	科目数	6 教科 8 科目又は 7 教科 8 科目	5 教科 6 科目
	国語	『国語』必須	『国語』必須
	数学	『数学Ⅰ，数学 A』必須 『数学Ⅱ，数学 B，数学 C』必須	『数学Ⅰ，数学 A』必須 『数学Ⅱ，数学 B，数学 C』必須（※ 1）
	外国語	『英語（リスニングを含む。）』必須	『英語（リスニングを含む。）』必須
	地理 歴史	次の（1）から（4）のいずれか （1）『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から 2 科目を選択、かつ『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』において 2 出題範囲を選択 （2）『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から 2 科目を選択、かつ『物理』『化学』『生物』『地学』から 1 科目を選択 （3）『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から 1 科目を選択、かつ『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』において 2 出題範囲を選択、並びに『物理』『化学』『生物』『地学』から 1 科目を選択 （4）『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から 1 科目を選択、かつ『物理』『化学』『生物』『地学』から 2 科目を選択	次の（1）から（3）のいずれかにより、2 教科 2 科目を選択する。 （1）地理歴史・公民のうち、『地理総合 / 歴史総合 / 公共』『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から 1 科目選択（※ 2） 理科のうち、『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』から 1 科目選択（※ 3） （2）地理歴史・公民のうち、『地理総合 / 歴史総合 / 公共』『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から 1 科目選択（※ 2） 情報のうち、『情報Ⅰ』を選択 （3）理科のうち、『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』から 1 科目選択（※ 3） 情報のうち、『情報Ⅰ』を選択
	公民		
	理科		
	情報	『情報Ⅰ』必須	
		※ 1 「数学 B」及び「数学 C」は、数列（数学 B）、統計的な推測（数学 B）、ベクトル（数学 C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学 C）の 4 項目のうち 3 項目の内容の問題を選択解答してください。	
		※ 2 『地理総合 / 歴史総合 / 公共』を選択する場合、「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の 3 つの出題範囲から 2 つの出題範囲を選択解答してください。	
		※ 3 『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』を選択する場合、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の 4 つの出題範囲から 2 つの出題範囲を選択解答してください。	

□ 食産業学群

実施日程	教科等	令和 8 年度入学者選抜までの 出題教科等	令和 9 年度入学者選抜以降の 出題教科等
前期 後期	科目数	6 教科 8 科目又は 7 教科 8 科目	6 教科 7 科目
	国語	『国語』 必須	『国語』 必須
	数学	『数学Ⅰ， 数学 A』 必須 『数学Ⅱ， 数学 B， 数学 C』 必須	『数学Ⅰ， 数学 A』 必須 『数学Ⅱ， 数学 B， 数学 C』 必須（※ 1）
	外国語	『英語（リスニングを含む。）』 必須	『英語（リスニングを含む。）』 必須
	地理 歴史	次の（1） から（4） のいずれか （1）『地理総合， 地理探究』『歴史総合， 日本史探究』『歴史総合， 世界史探究』『公共， 倫理』『公共， 政治・経済』 から 2 科目を選択、かつ『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』において、「地学基礎」を除くいずれか 2 出題範囲を選択	『地理総合， 地理探究』『歴史総合， 日本史探究』『歴史総合， 世界史探究』『公共， 倫理』『公共， 政治・経済』 から 1 科目を選択
	公民	（2）『地理総合， 地理探究』『歴史総合， 日本史探究』『歴史総合， 世界史探究』『公共， 倫理』『公共， 政治・経済』 から 2 科目を選択、かつ『物理』『化学』『生物』 から 1 科目を選択 （3）『地理総合， 地理探究』『歴史総合， 日本史探究』『歴史総合， 世界史探究』『公共， 倫理』『公共， 政治・経済』 から 1 科目を選択、かつ『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』において、「地学基礎」を除くいずれか 2 出題範囲を選択、並びに『物理』『化学』『生物』 から 1 科目を選択	
	理科	（4）『地理総合， 地理探究』『歴史総合， 日本史探究』『歴史総合， 世界史探究』『公共， 倫理』『公共， 政治・経済』 から 1 科目を選択、かつ『物理』『化学』『生物』 から 2 科目を選択	『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』『物理』『化学』『生物』 から 1 科目を選択（※ 2）
	情報	『情報Ⅰ』 必須	『情報Ⅰ』 必須

※ 1「数学 B」及び「数学 C」は、数列（数学 B）、統計的な推測（数学 B）、ベクトル（数学 C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学 C）の 4 項目のうち 3 項目の内容の問題を選択解答してください。
※ 2『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』を選択する場合、「地学基礎」を除く「物理基礎」、「化学基礎」及び「生物基礎」の 3 つの出題範囲から 2 つの出題範囲を選択解答してください。

2 学校推薦型選抜

(1) 大学入学共通テスト利用教科・科目

事業構想学群の学校推薦型選抜における大学入学共通テストの利用教科・科目を、次のとおり変更します。

イ 事業構想学群

教科等	令和 8 年度入学者選抜までの 出題教科等	令和 9 年度入学者選抜以降の 出題教科等
科目数	6 教科 7 科目	5 教科 6 科目
国語	『国語』 必須	『国語』 必須
数学	『数学Ⅰ， 数学 A』 必須 『数学Ⅱ， 数学 B， 数学 C』 必須	『数学Ⅰ， 数学 A』 必須 『数学Ⅱ， 数学 B， 数学 C』 必須（※ 1）
外国語	『英語（リスニングを含む。）』 必須	『英語（リスニングを含む。）』 必須
地理 歴史	『地理総合 / 歴史総合 / 公共』において 2 出題範囲を選択、又は『地理総合， 地理探究』『歴史総合， 日本史探究』『歴史総合， 世界史探究』『公共， 倫理』『公共， 政治・経済』 から 1 科目を選択	次の（1） から（3） のいずれかにより、2 教科 2 科目を選択する。 （1）地理歴史・公民のうち、『地理総合 / 歴史総合 / 公共』『地理総合， 地理探究』『歴史総合， 日本史探究』『歴史総合， 世界史探究』『公共， 倫理』『公共， 政治・経済』から 1 科目選択（※ 2） 理科のうち、『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』から 1 科目選択（※ 3） （2）地理歴史・公民のうち、『地理総合 / 歴史総合 / 公共』『地理総合， 地理探究』『歴史総合， 日本史探究』『歴史総合， 世界史探究』『公共， 倫理』『公共， 政治・経済』から 1 科目選択（※ 2） 情報のうち、『情報Ⅰ』を選択 （3）理科のうち、『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』から 1 科目選択（※ 3） 情報のうち、『情報Ⅰ』を選択
公民		
理科	『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 から 1 科目を選択	
情報	『情報Ⅰ』 必須	

※ 1「数学 B」及び「数学 C」は、数列（数学 B）、統計的な推測（数学 B）、ベクトル（数学 C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学 C）の 4 項目のうち 3 項目の内容の問題を選択解答してください。
※ 2『地理総合 / 歴史総合 / 公共』を選択する場合、「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の 3 つの出題範囲から 2 つの出題範囲を選択解答してください。
※ 3『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』を選択する場合、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の 4 つの出題範囲から 2 つの出題範囲を選択解答してください。

3 その他

(1) 令和 9 年度入学者選抜以降の個別学力検査及び大学入学共通テストの配点については、決定次第公表します。また、現在実施している各選抜方法等に変更が生じる場合、その内容についても随時公表します。

以上

第2報

令和7年4月24日
宮城大学

令和9年度入学希望者選抜に関する変更のお知らせ(予告)第2報

令和7年2月27日付け「令和9年度入学希望者選抜に関する変更のお知らせ(予告)第1報」(以下「第1報」という。)にて公表した個別学力検査及び大学入学共通テストの配点について、以下のとおり取り扱う予定です。

本予告は現時点での情報をお知らせするものであり、今後変更が生じた場合、その他各選抜方法等に変更が生じる場合は、随時、本学公式ウェブサイト等で公表します。出願を検討される際は、必ず該当年度の募集要項をご確認ください。

1 看護学群

(1) 一般選抜における個別学力検査及び大学入学共通テストの配点

次のとおりです。

実施日程		教科等									
		国語	数学	外国語	地理 歴史	公民	理科	情報	論説	面接	主体性等 評価
前期日程	大学入学 共通テスト	200点	200点	250点【※1】	100点【※2】		200点【※3】	100点	—	—	
	個別学力 検査等	—	—	150点	—	—	—	—	150点	評定	面接で評価
後期日程	大学入学 共通テスト	100点	100点	125点【※1】	50点【※2】		100点【※3】	50点	—	—	—
	個別学力 検査等	—	—	150点	—	—	—	—	—	評定	面接で評価

【※1】リーディングとリスニングの配点比率を4:1とします。なお、受験上の配慮によりリスニングを免除された場合は、リーディングの得点を換算して算出します。

【※2】2科目受験した場合は、得点の高い科目の成績を採用します。

【※3】『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については、「地学基礎」を除く選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点として扱います。

(2) 学校推薦型選抜における大学入学共通テストの配点

変更はありません。

2 事業構想学群

(1) 一般選抜における個別学力検査及び大学入学共通テストの配点

次のとおりです。

実施日程		教科等								
		国語	数学	外国語	地理 歴史	公民	理科	情報	論説	主体性等 評価
前期 日程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200 点	200 点	200 点	300 点 ※ 2				—	—
	個 別 学 力 検 査 等	—	100 点	100 点	—	—	—	—	100 点	— ※ 3
後期 日程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200 点	200 点	200 点	300 点 ※ 2				—	—
	個 別 学 力 検 査 等	—	300 点 ※ 1		—	—	—	—	—	— ※ 3

【※1】試験当日に数学又は外国語を選択し受験します。

【※2】・2教科2科目以上を受験した場合は、指定された教科・科目のうち、得点の高い2教科2科目を採用します。

・1科目の得点を150点に換算し、2科目の合計を300点とします。

・『地理総合／歴史総合／公共』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点として扱います。

・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点として扱います。

【※3】配点には含めず、可否ラインで志願者が同点で並んだ場合、活動実績報告書による評価が高い志願者を優先的に合格とします。

(2) 学校推薦型選抜における大学入学共通テストの利用教科・科目の配点

次のとおりです。

教科						
国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報
200点	200点	200点	300点【※】			

【※】・2教科2科目以上を受験した場合は、指定された教科・科目のうち、得点の高い2教科2科目を採用します。

・1科目の得点を150点に換算し、2科目の合計を300点とします。

・『地理総合／歴史総合／公共』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点として扱います。

・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点として扱います。

3 食産業学群

(1) 一般選抜における個別学力検査及び大学入学共通テストの配点

次のとおりです。

実施日程		教科等								
		国語	数学	外国語	地理 歴史	公民	理科	情報	ペーパー インタビュー	主体性等 評価
前期日程	大学入学 共通テスト	200点	200点	250点【※1】	100点【※2】		200点【※3】	50点	—	—
	個別学力 検査等	—	—	200点	—	—	—	—	—	—【※5】
後期日程	大学入学 共通テスト	200点	200点	250点【※1】	100点【※2】		200点【※3】	50点	—	—
	個別学力 検査等	—	—	—	—	—	—	—	100【※4】	—【※5】

【※1】リーディングとリスニングの配点比率を4:1とします。なお、受験上の配慮によりリスニングを免除された場合は、リーディングの得点を換算して算出します。

【※2】2科目受験した場合は、得点の高い科目の成績を採用します。

【※3】・1科目の得点を200点に換算します。

・2科目受験した場合は、得点の高い科目の成績を採用します。

・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「地学基礎」を除く選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点として扱います。

【※4】出題例は、第2報別紙「ペーパーインタビューについて」に掲載しています。

【※5】配点には含めず、可否ラインで志願者が同点で並んだ場合、活動実績報告書による評価が高い志願者を優先的に合格とします。

(2) 学校推薦型選抜における大学入学共通テストの利用教科・科目の配点

変更はありません。

以上

別紙

ペーパーインタビューについて

ペーパーインタビューとは面接に代わり、受験者が筆記形式で紙面の質問に回答する試験で、学群における学修への意欲や資質、思考力、表現力を評価します。

(出題例)

問1 この学群を志望した理由について、400字以内で書きなさい。

問2 入学後に何を学びたいか、その理由を含め、400字以内で書きなさい。

問3 最近のニュースで食産業に関係するものを取り上げ、そのことに関心をもった理由を含め、600字以内で書きなさい。

(注) 字数については、試験時間により変わることがあります。

入学者選抜に関する問い合わせ

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1
宮城大学 アドミッションセンター
TEL:022-377-8333 / FAX:022-377-8282